作成日：　2008 年 4 月 4 日
改訂日(V.6)：2019 年 4 月 11 日

安全データシート

１．化学品及び会社情報

化学品の名称：　**日農ブイゲットスタークル粒剤**

会社名：　日本農薬株式会社
住　所：　〒104-8386 東京都中央区京橋 1 丁目 19 番 8 号 京橋ＯＭビル
担当部門：　環境安全部
TEL. 03-6361-1426,　FAX. 03-6361-1451
e-mail: kankyouanzen@nichino.co.jp
緊急連絡電話番号：(平日)　03-6361-1426（環境安全部）
(休日、夜間)　04-2929-8961（ＡＬＳＯＫ）

推奨用途及び使用上の制限：農薬(殺虫･殺菌剤)、農薬登録の範囲外の使用は不可
ＳＤＳ番号：　５２８－１２０(Ｍ０８－１２)

２．危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

【物理化学的危険性】

爆発物	[分類対象外]	自然発火性液体	[分類対象外]
可燃性/引火性ガス	[分類対象外]	自然発火性固体	[分類できない]
エアゾール	[分類対象外]	自己発熱性化学品	[分類できない]
支燃性/酸化性ガス	[分類対象外]	水反応可燃性化学品	[区分外]
高圧ガス	[分類対象外]	酸化性液体	[分類対象外]
引火性液体	[分類対象外]	酸化性固体	[区分外]
可燃性固体	[分類できない]	有機過酸化物	[分類対象外]
自己反応性化学品	[分類対象外]	金属腐食性物質	[分類できない]

【健康に対する有害性】

急性毒性(経口)	[区分外]	皮膚感作性	[区分外]
急性毒性(経皮)	[区分外]	生殖細胞変異原性	[分類できない]
急性毒性(吸入:ガス)	[分類対象外]	発がん性	[分類できない]
急性毒性(吸入:蒸気)	[分類できない]	生殖毒性	[分類できない]
急性毒性(吸入:粉じん)	[分類できない]	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	[分類できない]
急性毒性(吸入:ミスト)	[分類対象外]		
皮膚腐食性/皮膚刺激性	[区分外]	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	[区分外]	（肺，肝臓，腎臓）	[区分２]
呼吸器感作性	[分類できない]	吸引性呼吸器有害性	[分類できない]

【環境に対する有害性】

水生環境有害性(急性)	[区分3]	オゾン層への有害性	[分類できない]
水生環境有害性(長期間)	[区分2]		

ＧＨＳラベル要素

【絵表示又はシンボル】



【注意喚起語】　警告

【危険有害性情報】
・長期にわたる、又は反復ばく露による肺，肝臓，腎臓の障害のおそれ
・水生生物に有害
・長期的影響によって水生生物に毒性
【注意書き】
[安全対策]
・粉じんを吸入しないこと。
・必要な時以外は、環境への放出を避けること。
[応急措置]
・気分が悪いときは，医師の診断あるいは手当てを受けること。
・漏出物を回収すること。
[廃棄]
・内容物又は容器を廃棄する場合は、該当法規に従い、都道府県知事等に許可された産業廃棄物処理業者に委託すること。
・使用済みの容器は、他の用途に使用しないこと。

以下の点については、ＧＨＳ分類結果よりＧＨＳラベル要素は非該当であるが、取り扱い時には注意する。
[安全対策]
・この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
・屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
・保護手袋、保護眼鏡、保護マスク、保護衣を着用すること。
・取扱い後は、手や顔等をよく洗うこと。
[応急措置]
・飲み込んだ場合、口をすすぐこと。
・吸入した場合、被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
・皮膚についた場合、多量の水で洗うこと。
・眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
[保管]
・容器を密閉し、換気の良い場所に保管すること。

３．組成及び成分情報

化学物質･混合物の区分：混合物
有効成分化学名(一般名)：
1) (*RS*) - 1 - メチル - 2 - ニトロ - 3 - (テトラヒドロ - 3 - フリルメチル)グアニジン (一般名 ジノテフラン)
2) 3'-クロロ - 4,4' - ジメチル - 1,2,3 - チアジアゾール - 5 - カルボキサニリド (一般名 チアジニル)

成分及び含有量：

成　分		含有量	CAS No.	安衛法 No.	化審法 No.
ジノテフラン	$C_7H_{14}N_4O_3$	2.0%	165252-70-0	8-(4)-1339	(5)-6767
チアジニル	$C_{11}H_{10}ClN_3OS$	12.0%	223580-51-6	8-(7)-1324	―
〈その他〉					
固形パラフィン		10%未満	―	―	―
シリカ		10%未満	―	―	―
鉱物質微粉等		残	―	―	―

４．応急措置

吸入した場合　：　被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
気分が悪い時は、医師に連絡する。

皮膚に付着した場合　：　汚染された衣類、靴等を速やかに脱ぐ。
付着した製品を拭い取り、水または微温湯で洗い流す。
外観に変化が見られたり痛みが続く場合には､速やかに医師の手当てを受ける。

眼に入った場合　：　直ちに清浄な水で洗浄する。
洗眼の際、まぶたを指で良く開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水が行きわたるように洗浄する。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し､その後も洗浄を続ける。
刺激が続く場合は速やかに眼科医の手当てを受ける。

飲み込んだ場合　：　水で口の中を洗浄し、直ちに医師の手当てを受ける。
無理に吐き出させない。
被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならない。
毛布などで保温して安静に保つ。

応急措置をする者の保護　：救助者は有害物質に触れないよう、手袋やゴーグル、マスク等の保護具を着用する。

５．火災時の措置

消火剤：　泡、粉末、二酸化炭素、水、砂

特定の危険有害性：　火災によって刺激性又は毒性のガスを発生するおそれがある。
過熱されると発熱を伴って急激に分解する成分を含んでいるため、一旦着火すると消火が困難になる。

特定の消火方法：　火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。
危険なくできる時は、燃焼の供給源を速やかに止める。
移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。
容器、周囲の設備等に散水して冷却する。
消火作業は、可能な限り風上から行う。

消火を行う者の保護：　適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
漏出した場所の周辺にロープを張る等して､関係者以外の立ち入りを禁止する。
作業の際には､必ず適切な保護具を着用し､漏洩物との接触及び粉じんの吸入を避ける。

環境に対する注意事項：　河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

除去方法：　漏出したものをすくいとり、または掃き集めてドラム等に回収する。

二次災害の防止策：　付近の着火源となるものを速やかに取り除く。
危険なくできる時は、漏出源を遮断し、漏れを止める。

７．取り扱い及び保管上の注意

取り扱い

技術的対策：　換気の良い場所で取り扱う。
屋内で取り扱う場合は、「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。
吸入や皮膚への接触を防ぎ､眼に入らないように適切な保護具を着用する。
必要な時以外は、環境への放出を避ける。

安全取扱注意事項 ：　容器を転倒、落下させ、衝撃を加え、又は引きずる等の乱暴な取り扱いをしない。
みだりに粉じんが発生しないように取り扱う。

衛生対策 ：　休憩場所には、手洗い、洗眼等の設備を設け、取り扱い後に手、顔等をよく洗う。手袋等の汚染された保護具を持ち込まない。
指定された場所以外では、飲食、喫煙を行ってはならない。

保管

保管条件 ：　容器を密栓し、換気の良い涼しい場所に保管する。
酸化剤ならびに酸化性の強い物質との保管は避ける。

容器包装材料 ：　クラフト紙袋、クラフト加工紙袋等

８．ばく露防止及び保護措置

管理濃度 ：　3 mg/m^3（鉱物性粉じんとして）

許容濃度

日本産業衛生学会 ：	第１種粉じん	吸入性粉じん	0.5 mg/m^3
		総粉じん	2 mg/m^3
ＡＣＧＩＨ ：	タルク　ＴＷＡ		2 mg/m^3
	固形パラフィン		2 mg/m^3

設備対策：　室内で取り扱う場合には、全体換気装置を設置する。
密閉された装置､機器又は局所排気装置等を使用しなければ取り扱ってはならない。
取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設けること。

保護具

呼吸用保護具：　農薬用マスク
手の保護具：　保護手袋
眼の保護具：　保護眼鏡，ゴーグル
皮膚及び身体の保護具：保護服，保護帽子，保護長靴等

９．物理的及び化学的性質

外観

物理的状態/形状 ：　固体(細粒)
色 ：　類白色
臭い ：　わずかな特異臭
pH ：　8.9 (20%懸濁水)
融点 ：　知見なし
引火点 ：　知見なし
見掛け比重：　1.2
溶解度 ：　知見なし

１０．安定性及び反応性

化学的安定性 ：　通常の保管条件下では安定。
避けるべき条件 ：　加熱
混触危険物質 ：　強酸化性物質、強酸
危険有害な分解生成物 ：　燃焼時、有害ガス(窒素酸化物、ハロゲン化物、硫黄酸化物)を発生する。

１１．有害性情報

急性毒性
経口 ：　ラット（雌） LD_{50} >2,000 mg/kg［区分外］
経皮 ：　ラット　LD_{50} >2,000 mg/kg［区分外］
吸入（ガス） ：　GHS の定義による固体であるため，分類対象外とした。
吸入（蒸気） ：　知見なし［分類できない］
吸入（粉じん） ：　知見なし［分類できない］
吸入（ミスト） ：　GHS の定義による固体であるため、分類対象外とした。
皮膚腐食性/皮膚刺激性 ：ウサギ 刺激性なし［区分外］
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性
　ウサギ 軽度の刺激性［区分外］
　結膜発赤、浮腫 72時間後までに消失
呼吸器感作性 ：　知見なし［分類できない］
皮膚感作性 ：　モルモット 陰性［区分外］
生殖細胞変異原性 ：　知見なし［分類できない］
発がん性 ：　知見なし［分類できない］
生殖毒性 ：　知見なし［分類できない］
特定標的臓器毒性（単回ばく露）
　知見なし［分類できない］
特定標的臓器毒性（反復ばく露）
　区分1(肺)の非晶質シリカを10%未満、区分2(肝臓、腎臓)のチアジニルを12%含まれるため、区分2(肺，肝臓，腎臓)とした。
吸引性呼吸器有害性 ：　知見なし　［分類できない］

１２．環境影響情報

水生環境有害性(急性)：　オオミジンコ EC_{50} (48H) 24 mg/L に基づき，区分3とした。
水生環境有害性(長期間)：区分1であるジノテフランの10×毒性乗率×成分濃度が25%以上となるため、区分2とした。

生態毒性

魚毒性：	コイ	LC_{50}値(96H)	923 mg/L
その他：	オオミジンコ	EC_{50}値(48H)	24 mg/L
	藻類	EbC_{50}値(0-72H)	29.9 mg/L

〈ジノテフラン〉

その他：	ドブユスリカ	LC_{50}値(48H)	0.0721 mg/L
		NOEC(27 日)	0.00288 mg/L

１３．廃棄上の注意

残余廃棄物：　都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託し、関係法令を遵守して適正に処理する。
廃棄処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。
汚染容器及び包装 ：　空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する。都道府県知事等の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。
使用済みの容器は、他の用途に使用しない。

１４．輸送上の注意

国際規制

国連分類　：　9

国連番号　：　UN3077

国連輸送品名　：　環境有害性物質,固体，n.o.s（ジノテフラン混合物）

容器等級　：　Ⅲ

海洋汚染物質　：　該当

国内規制

陸上輸送　：　道路法等に定められている運送方法に従う。

海上輸送　：　船舶安全法に定められている運送方法に従う。

航空輸送　：　航空法に定められている運送方法に従う。

輸送の特定の安全対策及び条件

輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。
転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
車両、船舶には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備える他、緊急時の処理に必要な消火器、工具等を備えておく。

緊急時応急措置指針番号：171(低、中等度の危険性物質)

１５．適用法令

毒物及び劇物取締法：毒物及び劇物に該当せず。

労働安全衛生法　：

表示対象物(法 57 条、施行令第 18 条)：シリカ、固形パラフィン

通知対象物(法 57 条の 2、施行令 18 条の 2)：シリカ、固形パラフィン

化学物質排出把握管理促進法(化管法)

指定化学物質：該当せず。

１６．その他の情報

参考資料：　安全データシート「ブイゲットスタークル粒剤」(三井化学アグロ㈱ 2016 年 6 月 1 日改訂)

本データシートの記載内容は、この化学品の取扱い時の安全性に関する参考情報であり、安全性や品質の保証をなすものではありません。また危険性、有害性の評価は、必ずしも充分ではありませんので、取扱いには充分注意を払って下さい。